

### ● 診療科の特色

糖尿病治療アルゴリズムは低血糖リスクを減らし、体重増加を来さない治療薬の登場によって近年飛躍的に進歩し大きく変化しています。一方、超高齢化社会に突入した日本においてサルコペニア、フレイル、認知症といった新たな社会問題が生じ、予防、治療への対策が急務な課題として取り上げられています。

上記課題に関して、当科では糖尿病・脂質代謝、高血圧症を中心とした生活習慣病領域全般にわたって、外来および入院診療に取り組んでいます。医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、歯科医師、歯科衛生士など多くのスタッフが一体となって協力・連携し、患者様のセルフケアをサポートする「チーム医療」に力を入れて取り組んでいます。

具体的には持続血糖測定 (CGM : continuous glucose monitoring)、FGM (flash glucose monitoring)、パーソナル CGM 機能を搭載したインスリンポンプ療法 (SAP: sensor augmented pump) などを積極的に導入し、低血糖予防、血糖変動推移の「見える化」を図ることによって、患者様が安心・納得して最新の医療を受けて頂けるよう努めています。

さらに、グルコースクランプやインピーダンス法・DEXA 法による体組成計測検査器機を用いてインスリン感受性・抵抗性の評価を行い、グルカゴン負荷試験、食事負荷試験を用いて内因性インスリン分泌能の評価、握力、歩行速度、開眼片足立ち時間の計測によるフレイル、サルコペニアの評価、DASC-8、MMSE を用いて認知・生活機能、高齢者の血糖コントロール目標設定のためのカテゴリ分類を評価することによって患者様個々の病態に即した適切な治療を行っています。

フットケア外来では、皮膚科、形成外科、整形外科、循環器内科、心臓血管外科とフットケアユニットを形成し、足切断ハイリスク患者の予防的ケアから潰瘍治療まで行っています。

2017年10月より、当科では甲状腺・内分泌疾患の診療も開始しており、今年度はおよそ520名の診療にあたっています。甲状腺疾患としてバセドウ病、慢性甲状腺炎(橋本病)、亜急性甲状腺炎、甲状腺腫瘍などの診療を行っております。甲状腺超音波検査は年間約290例を自科で施行しています。超音波ガイド下の穿刺細胞診も施行可能です。

バセドウ病の治療には内服療法・手術療法・アイソトープ療法があります。当科では内服療法のほかにアイソトープ治療(<sup>131</sup>I 内照射)も対応可能です(2020年度は外来で1例施行)。手術療法の適応となる患者様については乳腺・甲状腺外科に院内紹介し連携で治療を行っています。患者様ひとりひとりに最適と思われる方法を提案しています。

ほか、下垂体疾患(下垂体前葉機能低下症、中枢性尿崩症など)、副甲状腺疾患(原発性副甲状腺機能亢進症・低下症など)、副腎疾患(原発性アルドステロン症、副腎性クッシング症候群、褐色細胞腫など)をはじめとした内分泌疾患全般にわたり診療しています。原発性アルドステロン症精査に必要な副腎静脈サンプリングは放射線科と連携して行っています。

低血糖症の診療においては糖代謝の観点と内分泌の観点からの病態把握・鑑別診断が必要です。当科では各種負荷試験や画像検査を行い、インスリンノーマなどが疑われる場合には放射線科と連携でASVS(選択的カルシウム動注後肝静脈サンプリング)を施行し精査を行っています。

常時10~15名/日の糖尿病教育入院患者がいますが、外科手術の周術期や化学療法中の免疫抑制状態、さらに、妊娠管理を要するハイリスクな他科入院患者の血糖管理も月80~100名とかなりの症例数を誇っており、糖尿病学会認定教育施設として豊富な症例を経験でき、質・量ともに充実した研修を行う事

ができます。また学会発表、論文投稿も積極的に行っています。

## ● 入院診療実績

### 1. 主要入院患者数

新入院患者数 214 人

疾患	患者数
2 型糖尿病	135
1 型糖尿病(うち緩徐進行 1 型 7 名、妊娠合併 2 名)	19
糖尿病性腎症	8
糖尿病性ケトアシドーシス	2
高血糖高浸透圧症候群	4
糖尿病性ケトーシス	7
低血糖症	6
シックデイ	1
妊娠糖尿病	1
ステロイド糖尿病	1
糖尿病性足壊疽	1
甲状腺・内分泌疾患	16
その他	13

なお、「甲状腺・内分泌疾患」には低ナトリウム血症 2 名、バセドウ病・甲状腺機能亢進症 5 名(うち甲状腺クリーゼ 4 名)、原発性アルドステロン症 1 名、原発性副甲状腺機能亢進症 1 名、高カリウム血症 2 名、低カルシウム血症 1 名、副腎クリーゼ 2 名、甲状腺機能低下症 1 名、中枢性尿崩症 1 名を含む。

### 2. 教育入院関連諸実績

自己注射指導	合計	143
	うち新規導入	71
自己血糖測定指導	合計	117
	うち新規導入	60
糖尿病教室参加 ※	カンバセーションマップ参加	9
	バイキング参加	10
	両方	7
CSII	のべ入院 CSII 患者	6
	うち新規導入	2
	うち SAP 導入	2
持続血糖モニター装着	フリースタイルリブレ装着	20
	SAP 導入	1

※新型コロナウイルス感染対策のため、2020/4/24 以降は中止

### 3. フットケア外来実績: 患者 6 名、のべ 26 回、うち新規患者 1 名

## ● 研究業績

### 1. 学会、研究会

- 1) 自己免疫性多内分泌腺症候群 3 型に抗 GAD 抗体陽性の自己免疫性小脳失調症を合併した一例  
合田 百花  
日本糖尿病学会 中国四国地方会 第 58 回総会 2020 年 10 月 23 日
- 2) コントロール不良の 2 型糖尿病に右足ガス壊疽と肝膿瘍を併発した一例  
前田 恵実  
日本糖尿病学会 中国四国地方会 第 58 回総会 2020 年 10 月 23 日
- 3) 2 型糖尿病の治療経過中に自己免疫性膵炎を発症した一例  
的場 將城  
日本糖尿病学会 中国四国地方会 第 58 回総会 2020 年 10 月 23 日
- 4) 自殺企図のインスリン大量投与で重症低血糖を来し緊急血液透析により改善を認めた一例  
山岡 主知  
日本糖尿病学会 中国四国地方会 第 58 回総会 2020 年 10 月 23 日
- 5) てんかんの診断で加療されていたインスリンノーマの一例  
栗林 怜実  
日本糖尿病学会 中国四国地方会 第 58 回総会 2020 年 10 月 23 日
- 6) クロピドグレル内服により生じたインスリン自己免疫症候群の一例  
田原 稔久  
日本糖尿病学会 中国四国地方会 第 58 回総会 2020 年 10 月 23 日

### 2. 講演

- 1) ソリクア Webinar  
武田 昌也  
TKP ガーデンシティ岡山 2020 年 11 月 26 日
- 2) SOLIQUA 発売記念講演会  
武田 昌也  
ANA クラウンプラザホテル岡山 2020 年 12 月 9 日